

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 熊澤 利和	(学部)地域政策学部
1 重要事項 1) 成果説明 (大要) (1) 【教育、研究、社会貢献等の分野】 本年度の教育、研究、社会貢献等の分野に関する成果は、以下の 2 点に集約される。一点目は、これまでターミナルケアにおける終末期鎮静関連するヒアリング調査結果を地仏教看護・ビハーラ学会、域政策研究 (高崎経済大学) 等で報告を行ってきた。それに関連した研究課題に対して、科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) を下記の研究課題名及び期間に補助金による研究助成を受け研究を展開している。 研究課題名：緩和医療における選択・決定の価値と公平性に関する方角的・実証的研究 補助事業期間：平成 25 年度～平成 27 年度 研究代表者：熊澤利和 二点目は、今年度実施された仏教看護・ビハーラ学会におけるシンポジウムのシンポジストとして、これまでの研究経過を踏まえて、「家族」という立場から発言をした。その概要は、中外日報 (平成 25 年 8 月 29 日) に掲載された。 (2) 【学内業務の分野】 学内業務の分野では、 ①地域づくり学科長、実習運営委員長として学部学科の運営にあたった。また本年度より新カリキュラムが実施され教務委員長の補佐を行ってきた。 ②学部長より諮問された、地域政策学部の学部入試定員検討委員会の委員長として、役割を遂行した。 ③職域代表として、職員の意見のとりまとめ等及び労使協議を担ってきた。 (3) 【学会報告】 ①日本地域政策学会 第 12 回全国研究大会 (京都) 第 4 分科会「地域福祉計画の実践レベルからの検証」ー 進行管理と評価指標の視点から ー コメンテーター 開催日時：2013 年 7 月 7 日 (日) 09:00～11:45 開催場所：龍谷大学 ②仏教看護・ビハーラ学会第 9 回年次大会 シンポジウム「緩和ケアは死に向き合ってきたか」 シンポジスト 開催日時：平成 25 年 8 月 24 日 (土) 開催場所：皇學館大学	

【学会関連】

- ①仏教看護・ビハーラ学会理事（継続 2013 年 4 月～2016 年 3 月の予定）
- ②日本地域政策学会評議員（2012 年 7 月～2014 年 6 月の予定）

【社会活動】

- ①高崎市社会福祉審議会 身体障害者福祉専門分科会長（継続 平成 26 年 4 月～平成 29 年 3 月の予定）
- ②福祉サービス評価推進センターぐんま 調査・研究専門員（2014 年 3 月 31 日までの予定）

2 その他の事項

1）本学敷地内空間放射線量測定の実施

2011 年 11 月 2 日より、定期的（月 1 回）に本学敷地内における空間放射線量測定（定点観測）を実施している。（現在継続中、予定として 3 年間実施、その時点で見直しをする予定）

測定は、地域政策学部 飯島明宏 熊澤利和、総務グループ財務チームの金子智一、高橋弘之、阿部、水野で実施している。

測定結果は、本学ホームページ→キャンパスライフ→健康管理→空間放射線量測定結果から閲覧することができる。

URL: <http://www.tcue.ac.jp/life/health/kansoku.html>（2014 年 3 月 17 日現在）

2）講義の方法について

担当科目すべてにおいて、行政、医療、福祉等に関連する動向を紹介している。各講義時間に対してそのための情報収集とそれに基づいて講義の準備に、1 回の講義に対して、同じ程度（またはそれ以上）の準備時間を費やした。